

今日のトピック 英国の総選挙（速報）

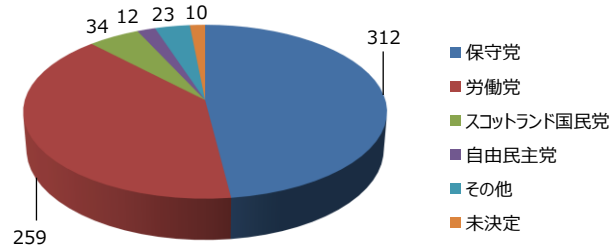
保守党が過半数割れ、ハング・パーラメントへ

ポイント1 保守党が過半数割れ

労働党が大幅に伸びる

- 6月8日に投票が行われた英国の総選挙について、英BBCは出口調査の結果をもとに、メイ首相率いる与党・保守党は第1党の座は保つものの、改選前（330議席）から議席を減らして、過半数（326議席）を割り込む見込みだと報じました。
- 英BBCによると、これまでの開票の結果、日本時間14時30分現在で、保守党が312議席、労働党が259議席を獲得しています。労働党は改選前議席（229議席）を大幅に上回っています。

【獲得議席数】



（注）日本時間6月9日14時30分時点のデータ。
（出所）英BBCのデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

ポイント2 ハング・パーラメントへ

ブレグジット交渉の不透明感増す

- 英BBCによれば、選挙の結果、どの党も単独では過半数に届かない「ハング・パーラメント」（宙づり議会）になる見込みです。このため、保守党による少数政権となるか、複数の政党による連立政権となるかが焦点となります。
- 同時に、総選挙の前倒しを決めたメイ氏の責任を問う声が、保守党内で高まることも必至です。欧州連合（EU）との離脱交渉に影響が出ることも避けられないと見られます。

【英ポンド】



（注）データは2016年1月1日～2017年6月9日。
2017年6月9日の為替は14時30分現在のレート。
（出所）Bloomberg L.P.のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

今後の展開 英ポンドに下落圧力

- 英総選挙の出口調査で保守党の議席数が過半数を割り込むとの見通しが示されたことを受けて、政局の先行き不透明感を嫌気した売りが膨らみ、英ポンドは主要通貨に対して急落しました。対米ドルでは1ポンド＝1.27ドル前半に下落し、約1か月半ぶりの安値をつけています（9日14時30分時点）。
- EU離脱交渉を控えて、英国の政治の不透明感が高まるなか、英ポンドには当面下落圧力がかけやすいと見られます。

ここもチェック! 2017年5月12日 最近の英国経済・市場動向（2017年5月）
2017年5月9日 「フランス大統領選挙」、マクロン氏勝利（欧州）

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。